土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	有地川　通常砂防事業に伴う業務委託(堰堤補修)
事業名 または 工事名	有地川　通常砂防事業
調査目的及び調査対象	砂防 ダム・溜池

ボーリング名	Bor.K.2	調査位置	広島県福山市芦田町下有地					北緯	34° 30′ 21.0132″
発注機関	広島県東部建設事務所			調査期間	2022年 10月 14日 ～ 2022年 10月 14日			東経	133° 15′ 38.9283″
調査業者名		管理技術者		担当者		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	T.P. 171.89m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方位	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 0°	地盤勾配	水平0° 鉛直 90° 33°	使用機種	試錐機：東邦試錐工業製DO DL0型
総削孔長	4.00m								エンジン：ヤンマー製TF 90M型　ポンプ：東邦試錐工業製BG 3C型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事
	171.89	0.20		表土		褐				腐植土を多く混入した粘質シルト質粘土。
1	170.89	1.00		粘質シルト質砂		黄灰				堰水通り掘削により，粘土質シルト質砂でコアが採取される。設計通則化部の可能性がある。
2	169.89	2.00		シルト質粘質砂		黄灰	ゆる			深度2mまで堰水通りにより，コアが乱れ，1mごとに上がり，礫・砂利の混合が多くなる。 清鉄岩の風化部と判定。
3				流紋岩		暗灰				清鉄岩の風化部。標準貫入試験でN値50に達する貫入量が5cm以下の硬さ。 送水確認時に，4L/分を送水したが，全逸水の状態。
4	167.89	4.00								

孔内水位／測定月日

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
46	1.10 / 1.45	10	15	20	45～320		
300	2.05 / 2.50	50～50			50～50	55	
500	3.95 / 4.00	50～50			50～50	55	
	4.00 / 4.00	貫入不能			50～0		

(10, 15, 20) ●

(50/50)

(50/50)

(貫入不能)

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法

室内試験　原位置試験

削孔月日